

没後50年 松野一夫展

出品リスト

9月16日(土)~11月12日(日)
北九州市立美術館分館

※本展覧会で便宜上付けたタイトルは[]で示した。タイトルの末尾に*を付したものは、松野一夫の没後、長男 松野安男が作品を整理した際に付けたタイトルである。小説や記事等のタイトルは「」で示した。制作年は、原則、仕事が発表された年を記載している。

No.	作品名/『書名』(作家名)/掲載誌(発行)等	制作年(刊行年月)	技法・素材	所蔵
第1章 上京、デビューまで				
1	[自画像]	1920年代か	キャンバスに油彩	個人蔵
2	「帝国美術院第三回美術展覧会出品 ときちゃん 松野一夫氏筆」 絵葉書美術工芸会発行	1921年	(絵葉書)	個人蔵
3	ROSKE IN KARAFUTO FROM MY SKETCH BOOK 1917	1917年か	紙に水彩	個人蔵
4	JAPANESE SOLDIERS IN SIBERIA	1920年代か	紙に水彩	個人蔵
5	ITALIAN AIR MEN ARRIVED AT TOKIO	1920年か	紙に水彩	個人蔵
6	AFTER THE CONFERENCE	1920年代か	紙に水彩、鉛筆	個人蔵
7	LITTLE SINGER	1920年代か	紙に水彩	個人蔵
8	HIS SISTER & HIS BROTHER	1920年代か	紙に鉛筆、水彩	個人蔵
9	TAKIN PICTURE	1920年代か	紙に水彩	個人蔵
10	Garden party	1920年代か	紙に水彩、鉛筆	個人蔵
第2章 挿絵画家としての活躍				
11	「昔の人が飛び出したら」『新青年』第1巻第4号(博文館)	1920年4月	(雑誌)	県立神奈川近代文学館
12	「ルパン怪奇探偵 虎の牙(一)」(モーリス・ルブラン/保篠竜緒 訳)『新青年』第2巻第1号(博文館)	1921年1月	(雑誌)	県立神奈川近代文学館
13	「盾」『新青年』第2巻第5号(博文館) 表紙	1921年5月	(雑誌)	県立神奈川近代文学館
14	「名探偵の顔」『新青年』第5巻10号(博文館)	1924年8月	(雑誌)	県立神奈川近代文学館
15	「シャーロック・ホームズ」『新青年』第6巻6号(博文館) 表紙	1925年7月	(雑誌)	県立神奈川近代文学館
16	『新青年』第8巻第9号 表紙博文館	1927年8月	(雑誌)	県立神奈川近代文学館
17	『新青年』第8巻第12号 表紙博文館	1927年10月	(雑誌)	県立神奈川近代文学館
18	「サムと該撒」挿絵原画(ジョンストン・マッカレー/坂本義雄 訳)『新青年』第10巻第1号(博文館)	1929年	紙にインク	個人蔵
19	「サムと犬」挿絵原画(ジョンストン・マッカレー/坂本義雄 訳)『新青年』第12巻第3号(博文館)	1931年	紙にインク	個人蔵
20	「七つの燈」挿絵原画(A・K・グリーン/平林初之輔 訳)『新青年』第10巻第3号(博文館)	1929年	紙にインク、墨	個人蔵
21	「グリーン家の惨劇」挿絵原画(ヴァン・ダイン/平林初之輔 訳)『新青年』第10巻第7号~第11号 全5回(博文館)	1929年	紙に墨、インク	個人蔵
22	「二つの屍体」挿絵原画(パウル・ハイン/甲賀三郎 訳)『新青年』第10巻第6号(博文館)	1929年	紙に墨、インク	個人蔵
23	「ジープスが居なくては」挿絵原画(P・G・ウッドハウス/上塚貞雄 訳)『新青年』第10巻第5号(博文館)	1929年	紙にインク	個人蔵
24	「ブルドッグ・ドラモンド後日譚」挿絵原画(サツバア)『新青年』第10巻第12号~第11巻第2号 全5回(博文館)	1929年	紙にインク	個人蔵
25	「帰ってきたい 帰りたい」挿絵原画(P・G・ウッドハウス/上塚貞雄 訳)『新青年』第10巻第10号(博文館)	1929年	紙にインク	個人蔵
26	「法官邸の広間鏡」挿絵原画(G・K・チェスタン)『新青年』第11巻第3号(博文館)	1930年	紙に水彩	個人蔵
27	「法官邸の広間鏡」(G・K・チェスタン)『新青年』第11巻第3号(博文館)	1930年2月	(雑誌)	県立神奈川近代文学館
28	「生命競争」挿絵原画(マリ・ベロック・ローンデス)『新青年』第10巻第12号(博文館)	1929年	紙にインク、墨	個人蔵
29	「ロジェ街の殺人」挿絵原画(マルセル・ベルジェ/延原謙 訳)『新青年』第11巻第3号(博文館)	1930年	紙に墨、鉛筆	個人蔵
30	「影の秘密」挿絵原画(モーリス・ルナル、アルベール・ジャン共作/渡辺尚一 訳)『新青年』第12巻第3号(博文館)	1931年	紙に墨、インク	個人蔵
31	「影の秘密」(モーリス・ルナル、アルベール・ジャン共作/渡辺尚一 訳)『新青年』第12巻第3号(博文館)	1931年2月	(雑誌)	県立神奈川近代文学館
32	「幻の遺書」挿絵原画(L・J・ビーストン/延原謙 訳)『新青年』第12巻第6号~第9号 全3回(博文館)	1931年	紙に鉛筆、墨	個人蔵
33	「栗鼠」挿絵原画(S・マーチン/延原謙 訳)『新青年』第12巻第9号(博文館)	1931年	紙に鉛筆	個人蔵
34	「第三の命令」挿絵原画(サツバア/小野浩 訳)『新青年』第12巻第11号(博文館)	1931年	紙に鉛筆、墨	個人蔵
35	「死の鎖」挿絵原画(E・S・ホールディング/大江専一 訳)『新青年』第12巻第1号~第6号 全5回(博文館)	1931年	紙に鉛筆	個人蔵
36	「暗鬼」挿絵原画(M・S・ブカナン/小野浩 訳)『新青年』第11巻第11号(博文館) p.13	1930年	紙に鉛筆、墨	個人蔵
37	「赤衛軍に追はれて」挿絵原画(廣瀬将)『新青年』第12巻第10号(博文館) ※挿絵画家不明(松野一夫か)	1931年	紙にインク、墨	個人蔵
38	「潜水艦を釣った話」挿絵原画(福永恭助)『新青年』第12巻第3号(博文館)	1931年	紙にインク、墨	個人蔵
39	「生命競争」挿絵原画(マリ・ベロック・ローンデス)『新青年』第10巻第12号(博文館)	1929年	紙に鉛筆	個人蔵
40	「赤衛軍に追はれて」挿絵原画(廣瀬将)『新青年』第12巻第10号(博文館) ※挿絵画家不明(松野一夫か)	1931年	紙にインク、墨	個人蔵
41	「影の秘密」(モーリス・ルナル、アルベール・ジャン共作/渡辺尚一 訳)『新青年』第12巻第3号(博文館)	1931年	紙に鉛筆	個人蔵
42	「死の鎖」挿絵原画(E・S・ホールディング/大江専一 訳)『新青年』第12巻第1号~第6号 全5回(博文館)	1931年	紙に鉛筆	個人蔵
43	「幻の遺書」挿絵原画(L・J・ビーストン/延原謙 訳)『新青年』第12巻第6号~第9号 全3回(博文館)	1931年	紙に鉛筆、墨	個人蔵
44	「二つの髯を持った男」挿絵原画(G・K・チェスタン)『新青年』第12巻第11号(博文館)	1931年	紙に鉛筆、墨	個人蔵
45	「二つの髯を持った男」挿絵原画(G・K・チェスタン)『新青年』第12巻第11号(博文館)	1931年	紙に鉛筆、墨	個人蔵
46	「幻の遺書」挿絵原画(L・J・ビーストン/延原謙 訳)『新青年』第12巻第6号~第9号 全3回(博文館)	1931年	紙に鉛筆、墨	個人蔵
47	「死の鎖」挿絵原画(E・S・ホールディング/大江専一 訳)『新青年』第12巻第1号~第6号 全5回(博文館)	1931年	紙に鉛筆	個人蔵
48	「暗鬼」挿絵原画(M・S・ブカナン/小野浩 訳)『新青年』第11巻第11号(博文館) p.13	1930年	紙に鉛筆	個人蔵
49	「死の鎖」挿絵原画(E・S・ホールディング/大江専一 訳)『新青年』第12巻第1号~第6号 全5回(博文館)	1931年	紙に鉛筆、墨	個人蔵
50	「死の鎖」挿絵原画(E・S・ホールディング/大江専一 訳)『新青年』第12巻第1号~第6号 全5回(博文館)	1931年	紙に鉛筆、墨	個人蔵
51	「幻の遺書」挿絵原画(L・J・ビーストン/延原謙 訳)『新青年』第12巻第6号~第9号 全3回(博文館)	1931年	紙に鉛筆	個人蔵

52	「死の鎖」挿絵原画(E・S・ホールディング／大江專一 訳)『新青年』第12巻第1号～第6号 全5回(博文館)	1931年	紙に鉛筆、墨	個人蔵
53	「幻の遺書」挿絵原画(L・J・ビーストン／延原謙 訳)『新青年』第12巻第6号～第9号 全3回(博文館)	1931年	紙に墨、鉛筆	個人蔵
54	「カリオストロ夫人」(横溝正史)挿絵原画『新青年』第12巻第6号(博文館)	1931年	紙に墨、インク	個人蔵
55	「カリオストロ夫人」(横溝正史)挿絵原画『新青年』第12巻第6号(博文館)	1931年	紙に墨、インク	個人蔵
56	「第七独居房」(S・マーティン)『新青年』第11巻第9号(博文館)	1930年	紙に墨、インク	個人蔵
57	「幻の遺書」挿絵原画(L・J・ビーストン／延原謙 訳)『新青年』第12巻第6号～第9号 全3回(博文館)	1931年	紙に墨、鉛筆	個人蔵
58	「第七独居房」(S・マーティン)『新青年』第11巻第9号(博文館)	1930年	紙に墨、インク	個人蔵
59	「モンテカルロの日本娘」挿絵原画(木村毅)『朝日』第3巻第1号～第5号 全5回(博文館)	1931年	紙に鉛筆	個人蔵
60	「アルハンブラの薔薇」(本郷春台郎)挿絵原画『少女画報』第17巻第1号(東京社)	1928年	紙に墨、水彩	弥生美術館
61	「真紅の楯」挿絵原画(伊福部隆輝)『少女画報』第18巻第11号(東京社)	1929年	紙に墨、インク	弥生美術館
62	「匂へ太陽の華」第5回 挿絵原画(八木隆一郎)『少女画報』第19巻第4号～第12号 全9回(東京社)	1930年	紙に鉛筆、水彩	弥生美術館
63	「愛犬の泪」挿絵原画(浅見淵)『少女画報』第19巻第10号(東京社)	1930年	紙にインク	弥生美術館
64	「翡翠の耳飾」挿絵原画(飯島実)『少女画報』第19巻第11号(東京社)	1930年	紙に鉛筆	弥生美術館
65	[ドライブ] 掲載誌不明	制作年不明	紙にインク	弥生美術館
66	「何者」挿絵原画(江戸川乱歩)『時事新報』夕刊 1929年11月27日～12月29日 全28回	1929年	紙に墨、インク	弥生美術館
第3章 憧れのパリへ				
67	[風景]	1931-32年頃	キャンバスボードに油彩	個人蔵
68	[風景]	1931-32年頃	キャンバスボードに油彩	個人蔵
69	[ドームの見える風景]	1931-32年頃	キャンバスボードに油彩	個人蔵
70	[パリの街角]	1931-32年頃	キャンバスボードに油彩	個人蔵
71	[風景]	1931-32年頃	ボール紙に油彩	個人蔵
72	[ヴェネツィア]	1931-32年頃	板に油彩	個人蔵
73	[二人]	1931-32年頃	ボール紙に油彩	個人蔵
74	[風景]	1931-32年頃	板に油彩	個人蔵
75	[風景]	1931-32年頃	板に油彩	個人蔵
76	[風景]	1931-32年頃	キャンバスボードに油彩	個人蔵
77	[広告塔のある風景]	1931-32年頃	キャンバスボードに油彩	個人蔵
78	[エッフェル塔遠望]	1931-32年頃	キャンバスボードに油彩	個人蔵
79	[風景]	1931-32年頃	キャンバスボードに油彩	個人蔵
80	[カフェ]	1931-32年頃	キャンバスボードに油彩	個人蔵
81	[風景]	1931-32年頃	キャンバスボードに油彩	個人蔵
82	[石畳の道]	1931-32年頃	キャンバスに油彩	個人蔵
83	[ターバンの男性]	1931-32年頃	板に油彩	個人蔵
84	[女性]	1931-32年頃	ボール紙に油彩	個人蔵
85	[ドン・キホーテ]	1931-32年頃	板に油彩	個人蔵
86	[座る女性]	1931-32年頃	キャンバスボードに油彩	個人蔵
87	[少女]	1931-32年頃	板に油彩	個人蔵
88	[少年]	1931-32年頃	ボール紙に油彩	個人蔵
89	兵隊二人*	1931-32年頃	紙にインク、墨、水彩	個人蔵
90	カルチエラタン 大学のある街角*	1931-32年頃	紙にインク	個人蔵
91	パリ 盛り場の雑踏*	1931-32年頃	紙にインク	個人蔵
92	カフェレスターの通り*	1931-32年頃	紙にインク、墨	個人蔵
93	オランダの子供*	1931-32年頃	紙にインク	個人蔵
94	カフェの人々／サロンにて*	1931-32年頃	紙にインク	個人蔵
95	裸婦のいるアトリエ*	1931-32年頃	紙に墨、インク	個人蔵
96	エッフェル塔遠望*	1931-32年頃	紙に墨、インク	個人蔵
97	台所*	1931-32年頃	紙に墨、インク	個人蔵
98	坂上からパリ市街を見る(パリ遠景)*	1931-32年頃	紙に墨、インク	個人蔵
99	街角*	1931-32年頃	紙にインク	個人蔵
100	男の三人連れ*	1931-32年頃	紙にインク	個人蔵
101	[パリ風景]	1931-32年頃	紙にインク	小倉高等学校百周年記念明陵会館蔵
102	[パリ風景]	1931-32年頃	紙にインク、墨	小倉高等学校百周年記念明陵会館蔵
103	巴里地下鉄	1931-32年頃	紙にインク、墨	小倉高等学校百周年記念明陵会館蔵
104	滞欧期スケッチ	1931-32頃	紙に墨、インクなど	個人蔵
105	『新青年』第13巻第2号 表紙(博文館)	1932年2月	(雑誌)	県立神奈川近代文学館
106	『新青年』第13巻第7号 表紙(博文館)	1932年6月	(雑誌)	県立神奈川近代文学館
107	『新青年』第13巻第8号 表紙(博文館)	1932年7月	(雑誌)	県立神奈川近代文学館
108	『新青年』第13巻第9号 表紙(博文館)	1932年8月	(雑誌)	県立神奈川近代文学館
109	『新青年』第13巻第11号 表紙(博文館)	1932年9月	(雑誌)	県立神奈川近代文学館
110	「巴里スケッチ」『新青年』第13巻第13号(博文館)	1932年11月	(雑誌)	県立神奈川近代文学館
111	「蚤取眼欧州覗奇」『新青年』第14巻第1号(博文館)	1933年1月	(雑誌)	県立神奈川近代文学館
112	「サ・セ・パリ！」『新青年』第14巻第6号(博文館)	1933年5月	(雑誌)	県立神奈川近代文学館

第4章 帰国後の仕事				
113	「黒死館殺人事件」(小栗虫太郎)挿絵原画『新青年』第15巻第5号～第14号 全9回 (博文館)	1934年4月	紙に墨、インク	世田谷文学館
114	「黒死館殺人事件」(小栗虫太郎)第1回『新青年』第15巻5号 (博文館)	1934年4月	(雑誌)	県立神奈川近代文学館
115	『トレント最後の事件』(ベントリイ/延原謙 訳/松野一夫 装丁)黒白書房	1930年7月	(図書)	世田谷文学館
116	『樽』(F・W・クロフツ/森下雨村 訳/松野一夫 装丁)柳香書院	1935年2月	(図書)	弥生美術館
117	『赤毛のレドメイン家』世界探偵名作全集 第1巻(イーデン・フィルポツツ/井上良夫 訳/松野一夫 装丁)柳香書院	1935年10月	(図書)	世田谷文学館
118	『十二の刺傷』世界探偵名作全集 第2巻(アガサ・クリスティ/延原謙 訳/松野一夫 装丁)柳香書院	1935年12月	(図書)	世田谷文学館
119	『陸橋殺人事件』世界探偵名作全集 第5巻(ロナルド・ノックス/井上良夫 訳/松野一夫 装丁)柳香書院	1936年4月	(図書)	世田谷文学館
120	『白蟻』(小栗虫太郎/松野一夫 装丁)ぷろふいる社	1935年5月	(図書)	世田谷文学館
121	『黒死館殺人事件』(小栗虫太郎/松野一夫 装丁)新潮社	1935年5月	(図書)	世田谷文学館
122	『科学小説集 地球盗難』(海野十三/松野一夫 装丁)ラヂオ科学社	1937年4月	(図書)	世田谷文学館
123	「ユキモセデあめりか行脚」『新青年』第15巻第12号 (博文館)	1934年10月	(雑誌)	県立神奈川近代文学館
124	「くろがね島」(G・G・トウドウズ 原作/松野一夫 編集)『新青年』第16巻第3号 (博文館)	1935年2月	(雑誌)	県立神奈川近代文学館
125	「木兎荘の秘密」(ヘルマン・ランドン 原作/松野一夫 編集)『新青年』第16巻第10号 (博文館)	1935年8月	(雑誌)	県立神奈川近代文学館
126	「虹の下の街」(中村正常)挿絵原画『婦人画報』1933年2月号～9月号 全8回 (東京社)	1933年3月	紙にインク	弥生美術館
127	(原画)掲載誌不明	制作年不明	紙に墨、インク	弥生美術館
128	(原画)掲載誌不明	制作年不明	紙に墨、インク	弥生美術館
129	四つのクリスマス イタリー『少女の友』第27巻第12号 (実業之日本社)	1934年12月	紙に水彩、鉛筆	早稲田大学會津八一記念博物館
130	四つのクリスマス アイルランド『少女の友』第27巻第12号 (実業之日本社)	1934年12月	紙に水彩、鉛筆	早稲田大学會津八一記念博物館
131	四つのクリスマス パリ『少女の友』第27巻第12号 (実業之日本社)	1934年12月	紙に水彩、鉛筆	早稲田大学會津八一記念博物館
132	四つのクリスマス ボヘミア『少女の友』第27巻第12号 (実業之日本社)	1934年12月	紙に水彩、鉛筆	早稲田大学會津八一記念博物館
133	窓によせる フランス『少女の友』第28巻第6号 (実業之日本社)	1935年6月	紙に水彩、鉛筆	早稲田大学會津八一記念博物館
134	世界の少女たち エスキモー『少女の友』第32巻第12号 (実業之日本社)	1939年10月	紙に水彩、インク	早稲田大学會津八一記念博物館
135	「窓によせる」『少女の友』第28巻第6号実業之日本社	1935年6月	(雑誌)	早稲田大学會津八一記念博物館
136	「世界の少女たち」『少女の友』第32巻第12号実業之日本社	1939年10月	(雑誌)	早稲田大学會津八一記念博物館
137	『新衣装読本』『新女苑』第1巻第1号 (実業之日本社) 付録	1937年1月	(図書)	個人蔵
138	「冬の太陽」(大佛次郎)『少女の友』第35巻第3号実業之日本社	1942年3月	(雑誌)	大佛次郎記念館
139	『冬の太陽』(大佛次郎/松野一夫 挿絵)杉山書店	1942年9月	(図書)	大佛次郎記念館
140	「新女苑ヴォーグ」『新女苑』第1巻第2号実業之日本社	1937年2月	(雑誌)	弥生美術館
141	『美 1936』(松野一夫 編集)平凡社	1936年12月	(雑誌)	北九州市立美術館
142	『美 1936』(松野一夫 編集)関係資料	1936年12月	(校正刷、雑誌等)	個人蔵
143	「泉」(岸田國士/松野一夫 挿絵)『朝日新聞』切抜き	1939年	(新聞切抜き)	北九州市立美術館
144	『泉』(岸田國士/松野一夫 装丁)朝日新聞社	1940年8月	(図書)	北九州市立美術館
145	「泉」(岸田國士)挿絵原画『大阪朝日新聞』1939年10月7日～40年3月11日 全156回	1939年	紙に墨、インク	個人蔵
146	「逃走」(第二回以降、幽霊大陸へ行く)(大佛次郎、挿絵:松野一夫)『大陸』第2巻第1号(改造社)	1939年1月	(雑誌)	大佛次郎記念館
147	「幽霊大陸へ行く」(逃走改題)(大佛次郎、挿絵:松野一夫)『大陸』第2巻第2号(改造社)	1939年2月	(雑誌)	大佛次郎記念館
148	「江上の春」『大陸』第2巻第3号 表紙(改造社)	1939年3月	(雑誌)	大佛次郎記念館
149	「緑風」『大陸』第2巻第6号 表紙(改造社)	1939年6月	(雑誌)	大佛次郎記念館
150	『大陸』第2巻第8号 表紙(改造社)	1939年8月	(雑誌)	大佛次郎記念館
151	『大陸』第2巻第9号 表紙(改造社)	1939年9月	(雑誌)	大佛次郎記念館
152	『新青年』第20巻第8号 表紙原画『新青年』第20巻第8号	1939年6月	キャンバスに油彩	弥生美術館
153	『新青年』第20巻第8号 表紙(博文館)	1939年6月	(雑誌)	県立神奈川近代文学館
154	『新青年』表紙 校正刷、切抜き		(校正刷)	個人蔵
155	「汕頭我軍警備風景」『靖国の繪巻』(陸軍省情報部・海軍省軍事普及部 編)陸軍美術協会	1939年9月	(図書)	個人蔵
156	「龍州作戦」『靖国の繪巻 昭和十五年秋季大祭記念』(陸軍省・海軍省 編)陸軍美術協会	1940年9月	(図書)	昭和館
157	「北支石徳線開通風景」『靖国の繪巻 昭和十六年春季大祭記念』(陸軍省・海軍省 編)陸軍美術協会	1941年4月	(図書)	個人蔵
158	「第二次中原作戦」『靖国の繪巻 昭和十六年秋季大祭記念』(陸軍省・海軍省 編)陸軍美術協会	1941年10月	(図書)	個人蔵
159	「オールドス氷原作戦」『靖国の繪巻 昭和十七年春季大祭記念』(陸軍省・海軍省 編)陸軍美術協会	1942年4月	(図書)	個人蔵
160	「大地を衝く」『新青年』第21巻第13号 表紙博文館	1940年11月	(雑誌)	県立神奈川近代文学館
161	『新青年』第25巻第5号 表紙博文館	1944年5月	(雑誌)	県立神奈川近代文学館
162	『新青年』第25巻第9号 表紙博文館	1944年9月	(雑誌)	県立神奈川近代文学館
163	『新青年』第26巻第2号 表紙博文館	1945年2月	(雑誌)	県立神奈川近代文学館
164	「げんきな海洋少年少女団員」『幼年倶楽部』第18巻第5号 表紙大日本雄弁会講談社	1943年5月	(雑誌)	昭和館
165	「ラッカサントフ」『幼年倶楽部』第19巻第2号 表紙大日本雄弁会講談社	1944年2月	(雑誌)	昭和館
166	「陸の鳳雛」『若櫻』創刊号 表紙大日本雄弁会講談社	1944年5月	(雑誌)	個人蔵
167	「砲隊鏡と少年砲兵」『若櫻』第1巻3号 表紙大日本雄弁会講談社	1944年7月	(雑誌)	個人蔵
168	第三十六回 陸軍記念日 三月十日 ポスター陸軍省	1941年	(ポスター)	山崎記念中野区立歴史民俗資料館
169	愛国いろはかるた 絵札日本玩具統制協会	1943年12月	(カルタ)	個人蔵(岩井暢子氏)
第5章 戦後、探偵小説と子どものための本				
170	天高し『少年倶楽部』第32巻第7号(大日本雄弁会講談社)表紙	1945年10月	キャンバスに油彩	弥生美術館
171	みんな集れ『少年倶楽部』第32巻第8号(大日本雄弁会講談社)表紙	1945年12月	キャンバスに油彩	弥生美術館
172	[少年]掲載誌不明	制作年不明	キャンバスに油彩	弥生美術館

173	『よい子の日記』(松野一夫)泉書院	1947年	(図書)	個人蔵
174	『イナカノセイカツ 農村四季』(松野一夫)豊文社	1947年4月	(図書)	個人蔵
175	『ドウブツエン ZOOLOGICAL GARDEN』(松野一夫)豊文社	1947年頃	(図書)	個人蔵
176	『汽車』(松野一夫)博文館	1943年7月	(図書)	個人蔵
177	『汽車』(松野一夫)豊文社	1947年頃	(図書)	個人蔵
178	[汽車スケッチ]	制作年不明	紙に墨、インク	個人蔵
179	[汽車スケッチ]	制作年不明	紙に鉛筆	個人蔵
180	ドウブツエン 原画『ドウブツエン ZOOLOGICAL GARDEN』(豊文社 刊行年不明)	1947年頃	紙に水彩	個人蔵
181	『たのしい町』(松野一夫) 画稿『たのしい町』(豊文社 刊行年不明)	刊行年不明	紙に水彩	個人蔵
182	『たのしい町』(松野一夫) 校正刷『たのしい町』(豊文社 刊行年不明)	刊行年不明	(校正刷)	個人蔵
183	「名作物語 四人の姉妹」(オルコット/安藤一郎 訳) 挿絵原画『ひまわり』 第1巻第1号~第6号(ひまわり社、1947)	1947年2月	紙にインク	弥生美術館
184	『セルカークの冒険』ともだち文庫30(小出正吾/松野一夫 挿絵)中央公論社	1949年3月	(図書)	県立神奈川近代文学館
185	『セルカークの冒険』(小出正吾) 挿絵原画	1949年3月	紙にインク	県立神奈川近代文学館
186	『雪山の煙の下に』こどもかい文庫(桜井書店)	1926年4月	(図書)	県立神奈川近代文学館
187	『雪山の煙の下に』(川崎大治) 挿絵原画	1948年6月	紙に墨	県立神奈川近代文学館
188	『青春罪ありや』(大佛次郎/松野一夫 挿絵) 苦楽社	1948年11月	(図書)	大佛次郎記念館
189	「青春罪ありや」(大佛次郎) 挿絵原画『苦楽』 海外版 新年号(苦楽社、1948)	1948年1月	紙にインク	大佛次郎記念館
190	「仇討親爺」(水谷準) 挿絵原画『天馬』 第1巻第1号(苦楽社)	1949年1月	紙にインク	大佛次郎記念館
191	「本陣殺人事件」第1回(横溝正史)『宝石』 第1巻第1号(岩谷書店)	1946年3月	(雑誌)	世田谷文学館
192	「本陣殺人事件」第4回(横溝正史)『宝石』 第1巻第4号(岩谷書店)	1946年7月	(雑誌)	世田谷文学館
193	「諸家のカリカチュア」『新青年』 第7巻第5号(博文館)	1926年4月	(雑誌)	県立神奈川近代文学館
194	「探偵作家商売見立て」『宝石』 1953年2・3月号(岩谷書店)	1953年2月	(雑誌)	県立神奈川近代文学館
195	『別冊宝石 江戸川乱歩還暦記念号』 第42号 第7巻第9号 表紙(岩谷書店)	1954年11月	(雑誌)	豊島区
196	江戸川乱歩肖像画『別冊宝石 江戸川乱歩還暦記念号』 第42号 第7巻第9号(岩谷書店) 表紙	1954年11月	キャンバスに油彩	豊島区
197	『別冊宝石』 第8号 第3巻第2号 表紙(岩谷書店)	1950年4月	(雑誌)	大佛次郎記念館
198	『別冊宝石』 第9号 第3巻第3号 表紙(岩谷書店)	1950年6月	(雑誌)	大佛次郎記念館
199	『別冊宝石』 第10号 第3巻第4号 表紙(岩谷書店)	1950年8月	(雑誌)	大佛次郎記念館
200	『別冊宝石』 第11号 第3巻第5号 表紙(岩谷書店)	1950年10月	(雑誌)	大佛次郎記念館
201	『別冊宝石』 第9号 第3巻第3号 表紙原画『別冊宝石』 第9号 第3巻第3号(岩谷書店) 表紙	1950年6月	キャンバスに油彩	大佛次郎記念館
202	「災厄の町」(エラリー・クイーン/松野一夫 挿絵)『宝石』 第5巻第3号(岩谷書店)	1950年3月	(雑誌)	大佛次郎記念館
203	「猫じゃ猫じゃ事件」(土岐雄三/松野一夫 挿絵)『宝石』 第5巻第6号(岩谷書店)	1950年6月	(雑誌)	大佛次郎記念館
204	「蠅人形館の殺人」(ディクソン・カー/松野一夫 挿絵)『宝石』 第6巻第4号(岩谷書店)	1951年4月	(雑誌)	大佛次郎記念館
205	「菊合せ(瓢箪先生捕物帖)」(水谷準/松野一夫 挿絵)『宝石』 第7巻第12号(岩谷書店)	1952年12月	(雑誌)	大佛次郎記念館
206	富士を背負ふ『少年倶楽部』 第33巻第1号 表紙(大日本雄弁会講談社)	1946年1月	(雑誌)	昭和館
207	工作する子ども『小学六年生』 第4巻第11号 表紙(小学館)	1952年2月	(雑誌)	昭和館
208	『中学生の友』 第30巻第1号 表紙(小学館)	1953年4月	(雑誌)	昭和館
209	『すぐれた人々の少年少女時代』ローマ字教育文化協会(東和社)	1949年	(図書)	個人蔵
210	『音楽之友』 第6巻第1号 表紙(音楽之友社)	1948年1月	(雑誌)	昭和館
211	『音楽之友』 第6巻第2号 表紙(音楽之友社)	1948年2月	(雑誌)	昭和館
212	『音楽之友』 第6巻第11号 表紙(音楽之友社)	1948年11月	(雑誌)	昭和館
213	『音楽之友』 第8巻第9号 表紙(音楽之友社)	1950年9月	(雑誌)	昭和館
214	『名探偵ルコック』世界名作全集73(ガボリオ/江戸川乱歩)(大日本雄弁会講談社)	1948年10月	(図書)	個人蔵
215	『ジキル博士とハイド』世界名作全集105(スチブンソン/岩田良吉)(大日本雄弁会講談社)	1955年7月	(図書)	個人蔵
216	「ガリバー旅行記」(スウィフト/西村孝次 訳)『少年少女世界文学全集』 第6巻 イギリス編 第3巻(講談社)	1959年9月	(図書)	個人蔵
217	『水晶山の少年』ロビン・ブックス2(大佛次郎)(河出書房)	1955年7月	(図書)	大佛次郎記念館
218	『エジソン』講談社の絵本52(沢田謙)(大日本雄弁会講談社)	1951年	(図書)	昭和館
219	『シンドバット物語』講談社の絵本68(久米元一)(大日本雄弁会講談社)	1953年	(図書)	昭和館
220	『少年探偵 江戸川乱歩全集』(江戸川乱歩/松野一夫 装丁) 全23巻のうち、1、4、5、8、10、11巻(光文社)	1951-60年	(図書)	弥生美術館、個人蔵(1のみ)
221	『「新青年」の頃』(乾信一郎/松野一夫 カバー装画)(早川書房)	1991年11月	(図書)	北九州市立美術館
222	『のぼらひめ』(グリム/柴野民三)(国際情報社)	1973年頃	(図書)	個人蔵
223	『アルセーヌ・ルパン全集』(モーリス・ルブラン/保篠竜緒 訳/松野一夫 装丁) 全25巻のうち、1、3、7~10、13~21、23~25(日本出版協同)	1951-53年	(図書)	世田谷文学館
224	「怪奇名作絵物語 拾った目玉」(アイリッシュ/矢田洋 訳/松野一夫 挿絵)『中学生の友』 第33巻第2号(小学館)	1956年5月	(雑誌)	昭和館
225	「ぼくらの勉強室 外国人の顔のかきかた」(松野一夫)『少年クラブ』 第39巻第4号(大日本雄弁会講談社)	1952年3月	(雑誌)	昭和館
226	「私の若かった頃の音楽界」(松野一夫)『音楽之友』 第6巻第8号 pp.28-30(音楽之友社)	1948年8月	(雑誌)	昭和館
227	「雲の兄妹」挿絵原画(北條誠)『よみうり少年少女新聞』 1958年4月26日~12月30日 全107回	1958年	紙に水彩など	個人蔵
228	「のろまのハンス」原画(アンデルセン/神戸淳吉)『オールカラー版 世界名作 イソップ・グリム・アンデルセン』6(国際情報社)	1973年頃	紙に水彩、鉛筆	個人蔵
229	「のろまのハンス」画稿(アンデルセン/神戸淳吉)	1973年頃	紙に水彩、鉛筆	個人蔵
230	「のぼらひめ」原画(グリム/柴野民三)『オールカラー版 世界名作 イソップ・グリム・アンデルセン』12(国際情報社)	1973年頃	紙に水彩、鉛筆	個人蔵
231	「のぼらひめ」画稿(グリム/柴野民三)	1973年頃	紙に水彩、鉛筆	個人蔵
232	「あふれるおかゆ」原画(グリム/神戸淳吉)『オールカラー版 世界名作 イソップ・グリム・アンデルセン』1(国際情報社)	1973年頃	紙に水彩、鉛筆	個人蔵
233	「あふれるおかゆ」画稿(グリム/神戸淳吉)	1973年頃	紙に水彩、鉛筆	個人蔵

第6章 新たな画境へ				
234	小倉絵巻	1960年代	紙に墨、淡彩	北九州市立自然史・歴史博物館
235	夜の門司港	1960年代	紙に墨、淡彩	個人蔵
236	広寿山福聚禪寺	1965年	紙に墨、淡彩	個人蔵
237	牛久沼 晩春菖蒲咲く頃	1966年6月	紙に墨、淡彩	個人蔵
238	越生観梅記	1967年3月	紙に墨、淡彩	個人蔵
239	富士箱根紅葉記	1967年11月	紙に墨、淡彩	個人蔵
240	大垂水沢相模湖の桜 惜春紀行	1967年4月	紙に墨、淡彩	個人蔵
241	[風景]	1960年代	紙に墨、淡彩	個人蔵
242	L'autame	1960年代	紙に墨、淡彩	個人蔵
243	[風景]	1960年代	紙に墨、淡彩	個人蔵
244	パリ 労働者街 帰路*	1960年代	紙に墨、淡彩	個人蔵
245	少女とバイオリン弾き*	1960年代	紙に墨、淡彩	個人蔵
246	三人のフラテリーニ パリ シルクに於て	1960年代	紙に墨、淡彩	個人蔵
247	劇場 貴賓席*	1960年代	紙に墨、淡彩	個人蔵
248	駿河の海おし辺に生ふる浜つづら汝を頼み母に違ひぬ	1960年代	紙に墨、淡彩	個人蔵
249	富士の嶺のいや遠長き山道をも妹がりとはばけによばす来ぬ	1960年代	紙に墨、淡彩	個人蔵
250	良寛像	1960年代	紙に墨、淡彩	個人蔵
251	驟雨	1960年代	紙に墨、淡彩	個人蔵
252	野を横に馬ひきむけよほととぎす(松尾芭蕉「おくのほそ道」)	1960年代	紙に墨、淡彩	個人蔵
253	尾花沢にて(松尾芭蕉「おくのほそ道」)	1960年代	紙に墨、淡彩	個人蔵
254	山中与幽人对酌(李白)	1965年	紙に墨、淡彩	個人蔵
255	閑梨花発贈劉師(韓愈)	1960年代	紙に墨、淡彩	個人蔵
256	贈高式顔(杜甫)	1966年	紙に墨、淡彩	個人蔵

松野一夫『新青年』全表紙(複製展示)

1920(大正9)年1月から1950(昭和25)年7月まで博文館より刊行された『新青年』全400冊のうち、松野一夫が手がけた表紙の巻号を示す。2(5)は第2巻第5号を表す。『新青年』に作者名の表記がないが、松野一夫の作と判断したものには、*を付した。表紙絵にタイトルがあるものは「」で示した。

1921(大正10)年 第2巻 2(5)「盾」、2(7)「海の子」、2(11)「犬」
1922(大正11)年 第3巻 3(1)「雪の朝」、3(4)「若草の上」、3(5)「騎士」、3(6)「春と青年」、3(7)「初夏」、3(8)「花いちぢり」、3(9)「涼風」、3(11)「お花畑」、3(12)「初秋」、3(13)「収穫」、3(14)「秋の田園」
1923(大正12)年 第4巻 4(4)「冬」、4(5)「遠乗」、4(7)「春の川縁」、4(8)「緑蔭」、4(9)「海風」、4(10)「涼風」、4(12)「山頂にて」、4(13)、4(14)「建設の意気」
1924(大正13)年 第5巻 5(1)「長嘯」、5(3)、5(4)「競馬」、5(6)「南国」、5(7)「風車」、5(8)「熱風の下」、5(9)、5(10)「怪盗の顔」、5(11)「廓大鏡下に」、5(12)「扉の隙から」、5(13)「ベッドの下」、5(14)「黒い影」
1925(大正14)年 第6巻 6(1)「空中の格闘」、6(2)「運命の塔」、6(3)「パイプ」、6(4)「サロビー爺さん」、6(5)「幻の手」、6(6)「シャーロック・ホームズ」、6(7)、6(8)、6(9)「窓の女」、6(10)、6(11)「新聞売」、6(12)、6(13)、6(14)
1926(大正15/昭和元)年 第7巻 7(1)、7(2)、7(3)*、7(4)、7(5)、7(6)、7(7)、7(8)、7(9)、7(10)、7(11)、7(12)、7(13)、7(14)
1927(昭和2)年 第8巻 8(1)、8(2)、8(3)、8(4)、8(5)、8(6)、8(7)、8(8)「輪廻し」、8(9)「胡弓を弾く女」、8(10)「なんせんす」、8(11)「初秋散歩」、8(12)「感傷の秋」、8(13)「をどりこ」、8(14)「小春日和」
1928(昭和3)年 第9巻 9(1)「海村」、9(2)「コーカサスの踊子」、9(3)「或女のブルルフィル」、9(4)「華麗なる春」、9(5)「新婚旅行」、9(6)「憩ひ」、9(8)「白衣の女」、9(9)「チン・チン・チャイナマン」、9(10)「ボードビル」、9(11)「さのぼがん」、9(12)「あきたけなは」、9(13)「ことほぎて踊る」、9(14)「楽しきイヴ」
1929(昭和4)年 第10巻 10(1)「新世紀」、10(2)「クラウンの春」、10(3)「夢見る眸」、10(4)「鷺の羽根」、10(5)「ダンドリオン」、10(6)「碧玉」、10(7)「緑衣聖女」、10(8)「彼女」、10(9)「海風」、10(10)「覆面姫」、10(11)「ギャルソンヌ」、10(12)「南国のダリア」、10(13)「ラグビーと彼女」、10(14)「チルチルミチルの夜」
1930(昭和5)年 第11巻 11(1)、11(2)、11(3)*、11(4)、11(5)、11(6)、11(7)*、11(8)、11(9)、11(10)、11(11)、11(12)、11(13)、11(14)、11(15)*、11(16)
1931(昭和6)年 第12巻 12(1)、12(2)、12(3)、12(4)、12(5)、12(6)、12(7)、12(8)*、12(9)、12(10)、12(11)、12(12)、12(13)、12(14)、12(15)*、12(16)
1932(昭和7)年 第13巻 3(1)、13(2)、13(3)、13(4)、13(5)、13(6)、13(7)、13(8)、13(9)、13(11)、13(12)、13(13)、13(14)□
1933(昭和8)年 第14巻 4(1)、14(2)、14(3)、14(4)、14(5)*、14(6)、14(7)、14(8)、14(9)、14(10)、14(11)、14(12)、14(13)、14(14)
1934(昭和9)年 第15巻 15(1)、15(2)、15(3)、15(4)、15(5)、15(6)、15(7)、15(8)、15(9)、15(10)、15(11)、15(12)、15(13)、15(14)
1935(昭和10)年 第16巻 16(1)*、16(2)、16(3)、16(4)、16(5)、16(6)、16(7)、16(8)、16(9)、16(10)、16(11)、16(12)、16(13)、16(14)
1936(昭和11)年 第17巻 17(1)、17(2)、17(3)、17(4)、17(5)、17(6)、17(7)、17(8)、17(9)、17(10)、17(11)、17(12)、17(13)、17(14)
1937(昭和12)年 第18巻 18(1)、18(2)、18(3)、18(4)、18(5)、18(6)、18(7)、18(8)、18(9)、18(10)、18(11)、18(12)、18(13)、18(14)、18(15)、18(16)、18(17)
1938(昭和13)年 第19巻 19(1)、19(2)、19(3)、19(4)、19(5)、19(6)、19(7)、19(8)、19(9)、19(10)、19(11)、19(12)、19(13)、19(14)、19(15)、19(16)、19(17)、19(18)
1939(昭和14)年 第20巻 20(1)、20(2)、20(3)、20(4)、20(5)、20(6)、20(7)、20(8)、20(9)、20(10)、20(11)、20(12)、20(13)、20(14)、20(15)、20(16)
1940(昭和15)年 第21巻 21(1)、21(2)、21(3)、21(4)、21(5)、21(6)、21(7)、21(8)、21(9)、21(10)、21(11)、21(12)、21(13)「大地を衝く」、21(14)「鳩群れたつ」
1941(昭和16)年 第22巻 22(1)、22(2)、22(3)、22(4)、22(5)、22(6)、22(7)、22(8)、22(9)、22(10)、22(11)、22(12)
1942(昭和17)年 第23巻 23(1)、23(2)、23(3)、23(4)、23(5)、23(6)「密林を背に」、23(7)、23(8)「造船所の一刻」、23(9)「大陸稔る」、23(10)「銀輪肩に」、23(11)「牧場へ」、23(12)「操舵」
1943(昭和18)年 第24巻 24(1)「迎春」、24(2)、24(3)、24(4)、24(5)、24(6)、24(7)、24(8)、24(9)、24(10)、24(11)、24(12)
1944(昭和19)年 第25巻 25(1)、25(2)、25(3)、25(4)、25(5)、25(6)、25(7)、25(8)、25(9)、25(10)、25(11)、25(12)
1945(昭和20)年 第26巻 26(1)、26(2)
1946(昭和21)年 第27巻 27(1)、27(2)、27(3)、27(4)、27(5)、27(6)、27(7)、27(8)、27(9)、27(10)、27(11)*
1947(昭和22)年 第28巻 28(1)、28(2)、28(3)、28(4)、28(5)、28(6)、28(7)、28(8)
1948(昭和23)年 第29巻 29(1)、29(2)、29(3)